



図1 自宅ネットワークの一般的な構成…入り口のルータにぶらさがる

ここでは自宅のパソコンをWebサーバとして, インター ネット上で公開する方法を説明します.

自宅ネットワークは多くの場合,図1のような構成になっています.まず,ルータ^{注1}が入口として設置されて,各パ ソコンはこのルータにぶら下がっている形です.

このようなネットワーク構成の場合,パソコンをサーバ として公開するには,大きく三つのステップがあります.

- 手順1:自宅LAN内のMyサーバ・マシンのIPアドレスを固定にする
- 手順2:インターネットからのアクセスをMyサーバ・ マシンにつなげるために、ルータに静的NAT (Network Address Translation:ネットワーク・ア ドレス変換)の設定をする
- ・手順3:動的にルータに割り当てられるIPアドレスを





- ダイナミックDNSのサービスを利用してホスト名でア クセスできるようにする
- 手順4(応用):独自ドメインでアクセスできるように する

では, 順番に説明していきましょう.

■ 手順1:パソコンのIPアドレスの設定

● 自動的に IP アドレスが割り付けられている

自宅内ネットワークでは,通常,DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)によって,自動的にIPアドレスが 与えられています.多くのルータはDHCPサーバの機能も 持っており,パソコンが起動した時にDHCPのリクエスト を出すことで,IPアドレスが割り当てられます.

Myサーバ・マシンはIPアドレスを固定にする

しかし, サーバとして利用するパソコンは, IPアドレス を固定にする必要があります. DHCPで配布される IP アド レスは,多くのルータの初期設定では 192.168.1.xといっ たものになっています.

これはルータの設定を見るとその範囲がわかるので、My

注1: ブロードバンド・ルータと呼ばれる.明確な定義はないが、ここでは インターネットに接続するための家庭向けルータや、ルータ機能を持 つモデムなどを指す.